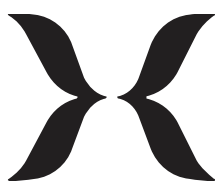


2021（令和3）年度
就職先企業アンケート調査結果



比治山大学
比治山大学短期大学部

高等教育研究開発センター

2022（令和4）年3月

調査の概要

1. 目的 本学卒業生の進路・就職先企業から、本学卒業生の貢献度や発揮している能力の評価を行うことで、本学の強み・足りないスキルを把握する。また、就職先企業が新入社員に求めるスキルを聴取することで、今後の教育方針について検討する一助とする。
2. 対象 比治山大学 令和2(2020)年度卒業生(2017年度生)就職先企業 100社
比治山大学短期大学部 令和2(2020)年度卒業生(2019年度生)
就職先企業 100社
3. 調査方法 インターネット調査
4. 調査期間 2021(令和3)年10月1日～10月29日
5. 回収状況 発送200件(うち17件不着)、回収92件(50.3%)
6. 実施 高等教育研究開発センター 評価・IR部門
7. 集計 所属・自由記述等の項目は除く。経年で調査する項目を掲載する。

「4×3の比治山力」

自立 「学びの主体者」としての自分を実感し、自己肯定感を持って主体的に生きる力

- ①情報収集力 (情報を集めて整理する力)
- ②論理的思考力 (いろいろな方向からものを捉えて考える力)
- ③課題設定力 (興味・関心・疑問を持って課題を設定する力)

想像 他者への理解と広い視野を持って生きる力

- ④発想力 (いろいろなアイディアを生み出す力)
- ⑤企画・計画力 (見通しをもって段どる力)
- ⑥傾聴・受信力 (相手と相手の考え方を大切にする力)

共生 他者と協働し、自分の役割を果たして生きる力

- ⑦コミュニケーション力 (相手の考えと自分の考えをどちらも大切にする力)
- ⑧チームワーク力 (責任感をもって、自分のチームに貢献する力)
- ⑨自己省察力 (他者との関わりの中で自分を振り返り、成長した自分を捉える力)

創造 既成概念にとらわれず、新たな価値を生み出す力

- ⑩創造・表現力 (専門的な学びを形にする力)
- ⑪プレゼンテーション力 (適切な表現方法でプレゼンテーションをする力)
- ⑫イノベーション力 (課題の本質を捉えて、問題解決にチャレンジする力)

問6. 2021年度入社の本学卒業生は入社時において、以下の項目を身に付けていましたか。2021年度入社の方それぞれの項目について、1～6のあてはまる番号1つに○をつけてください。

	非常にあてはまる (%)	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	全くあてはまらない (%)
生涯にわたって主体的に学び続けている	8.0	40.9	43.2	6.8	1.1	0.0
自らの人生をデザインする力を身に付けている	1.1	35.2	46.6	13.6	3.4	0.0
専門分野における確かな知識・技能を身に付けている	5.7	30.7	44.3	14.8	4.5	0.0
専門分野における実践力を身に付けている	6.8	31.8	46.6	12.5	2.3	0.0
問題解決に向けて努力する態度を身に付けている	15.9	42.0	33.0	4.5	3.4	1.1

問7. 2021年度入社の本学卒業生は入社時において、以下の項目を身に付けていましたか。それぞれの項目について、1～6のあてはまる番号1つに○をつけてください。

	非常にあてはまる (%)	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	全くあてはまらない (%)
自分の役割や課題に対して自発的・自立的に行動している	13.5	39.3	33.7	11.2	1.1	1.1
状況に応じて効果的な協力を得るために、さまざまな手段を活用している	6.7	32.6	47.2	11.2	1.1	1.1
グループの目標を達成するために積極的にメンバーに働きかけている	6.8	30.7	40.9	15.9	5.7	0.0
目標達成に向かって粘り強く取り組み続けている	14.6	46.1	30.3	6.7	2.2	0.0
とにかくやってみようとする果敢さをもって課題に取り組んでいる	16.9	33.7	37.1	10.1	1.1	1.1
目標達成のために现阶段での課題を的確に把握している	4.5	32.6	53.9	6.7	1.1	1.1
現状を正しく認識するための情報収集や分析をしている	4.5	28.1	47.2	18.0	1.1	1.1
目標達成までのプロセスを明確化し、実現性の高い計画を立てている	3.4	23.0	49.4	20.7	1.1	2.3
目標達成までの計画と実際の進み具合の違いに留意している	1.1	25.3	47.1	24.1	0.0	2.3
計画の進み具合や不測の事態に合わせて、柔軟に計画を修正している	3.5	24.4	46.5	20.9	3.5	1.2
複数のもの・考え方・技術等を組み合わせ、新しいものを作り出している	1.1	15.9	46.6	30.7	5.7	0.0
従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出している	2.3	20.5	43.2	27.3	5.7	1.1
目標達成を意識し、新しいものを生み出すためのヒントを探している	4.5	34.1	39.8	18.2	2.3	1.1
グループでの取り組みで、メンバーに情報をわかりやすく伝えている	8.0	33.0	36.4	20.5	1.1	1.1
相槌や共感等により、メンバーに話しやすい状況を作っている	19.3	34.1	33.0	11.4	2.3	0.0
先入観や思い込みをせずに、メンバーの話を聞いている	18.0	41.6	31.5	6.7	2.2	0.0
自分の意見を持ちながら、メンバーの意見も共感を持って受け入れている	20.2	36.0	33.7	7.9	2.2	0.0
なぜそのように考えるのか、メンバーの気持ちになって理解している	13.5	33.7	41.6	7.9	1.1	2.2
自分にできること・他のメンバーができることを判断して行動している	14.8	27.3	47.7	6.8	2.3	1.1
周囲の人間関係や忙しさを把握し、状況に配慮して行動をとっている	15.7	41.6	31.5	5.6	3.4	2.2
メンバーに迷惑をかけないように、ルールや約束・マナーを理解している	27.0	48.3	18.0	2.2	3.4	1.1
メンバーに迷惑をかけたとき、適切な事後の対応をしている	16.9	43.8	33.7	1.1	4.5	0.0
規律や礼儀が求められる場面では、礼節を守ったふるまいをしている	32.6	39.3	23.6	1.1	2.2	1.1
人に相談したり、支援を受けたりして、ストレスを緩和している	9.1	37.5	43.2	6.8	3.4	0.0

問8. 2021年度入社の本学卒業生は入社時において、次の12項目のスキルを身に付けていましたか。それぞれの項目について、1～6のあてはまる番号1つに○をつけてください。

	非常にあてはまる (%)	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	全くあてはまらない (%)
課題に取り組むために、必要な情報を自分で集めることができる	5.6	32.6	43.8	16.9	1.1	0.0
集めた情報に基づいて、論理的に考えることができる	3.4	20.2	49.4	25.8	1.1	0.0
自分の興味関心に基づいて、課題やテーマを設定することができる	3.4	28.4	48.9	18.2	0.0	1.1
課題に取り組む際に、いろいろなアイデアを考え出すことができる	3.4	23.9	46.6	25.0	0.0	1.1
課題解決に向けて、見通しを持った企画・計画を立てることができる	4.5	18.2	54.5	21.6	0.0	1.1
自分とは異なる意見にも、耳を傾けることができる	21.3	40.4	31.5	3.4	3.4	0.0
課題解決に向けて、まわりの人と意見をやりとりすることができる	19.1	33.7	34.8	9.0	3.4	0.0
チームに貢献できるような行動をとることができる	27.0	40.4	25.8	2.2	4.5	0.0
他者との意見交換から、自分の意見の正しいところと間違っているところを振り返って把握することができる	6.8	40.9	40.9	6.8	3.4	1.1
自分やチームのアイデアを、レポートや作品などの形として表現することができる	4.5	27.3	55.7	11.4	1.1	0.0
効果的な表現方法でプレゼンテーションをすることができる	5.7	22.7	44.3	25.0	1.1	1.1
自分で気づいて発見した社会や地域の課題について、解決に向けて取り組むことができる	4.5	21.6	46.6	23.9	2.3	1.1

問9. 貴社が新入社員に求めるスキルを、それぞれの項目について、1～6のあてはまる番号1つに○をつけてください。

	非常にあてはまる (%)	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	全くあてはまらない (%)
課題に取り組むために、必要な情報を自分で集めることができる	18.4	46.0	34.5	1.1	0.0	0.0
集めた情報に基づいて、論理的に考えることができる	16.1	48.3	32.2	3.4	0.0	0.0
自分の興味関心に基づいて、課題やテーマを設定することができる	8.0	52.9	33.3	4.6	1.1	0.0
課題に取り組む際に、いろいろなアイデアを考え出すことができる	27.6	43.7	24.1	4.6	0.0	0.0
課題解決に向けて、見通しを持った企画・計画を立てることができる	25.3	44.8	26.4	2.3	1.1	0.0
自分とは異なる意見にも、耳を傾けることができる	47.1	40.2	12.6	0.0	0.0	0.0
課題解決に向けて、まわりの人と意見をやりとりすることができる	47.1	40.2	11.5	1.1	0.0	0.0
チームに貢献できるような行動をとることができる	57.5	32.2	10.3	0.0	0.0	0.0
他者との意見交換から、自分の意見の正しいところと間違っているところを振り返って把握することができる	33.3	50.6	16.1	0.0	0.0	0.0
自分やチームのアイデアを、レポートや作品などの形として表現することができる	8.0	43.7	42.5	4.6	1.1	0.0
効果的な表現方法でプレゼンテーションをすることができる	11.5	36.8	43.7	5.7	2.3	0.0
自分で気づいて発見した社会や地域の課題について、解決に向けて取り組むことができる	14.9	42.5	29.9	10.3	2.3	0.0

問10. 2021年度入社の本学卒業生は貴組織において、どの程度貢献していますか。あてはまる数字を1つだけ選択してください。(○印は1つ)

非常に貢献している (%)	貢献している (%)	やや貢献している (%)	あまり貢献していない (%)	貢献していない (%)	全く貢献していない (%)
36.0	47.7	12.8	2.3	0.0	1.2

令和3年度 就職先企業アンケート調査分析結果

【目的】

本分析の目的は、就職先企業を対象に、本学の5つのディプロマポリシー、社会人基礎力、比治山力、比治山力の求める度合い、貢献度を尋ねることで、本学の卒業生が就職先企業にとってどれだけ能力を発揮し、貢献しているか検証することである。

【結果】

200件発送(うち1件不着)のうち92件の返答があり、その中で質問項目への回答が全くない(該当者がいない等により)3件を除く89件の回答を分析の対象とした。

まず、5つのディプロマポリシーに対する評価については、「問題解決に向けて努力する態度」が「自らの人生をデザインする力」や「専門分野における確かな知識・技能」と比べて高い値であった。

次に、社会人基礎力は「チームで働く力」と「前に踏み出す力」が「考え抜く力」と比べて高い値であった。

また、4×3の比治山力の評価は、チームワーク力、傾聴・受信力、コミュニケーション力が高く、特にイノベーション力、論理的思考力、企画・計画力、発想力、プレゼンテーション力と比べて統計的に有意な差があった。

最後に、これらディプロマポリシー、社会人基礎力、比治山力において、貢献度と相関が高かった項目は、3つの社会人基礎力全てと、ディプロマポリシーの「問題解決に向けて努力する態度」と比治山力の「チームワーク力」であった。

【総評】

就職先企業から見た貢献度と高い相関を示す社会人基礎力の中で、考え抜く力が低い点はこれまでの分析と共通している点であり、今後力を入れていくべき課題と考えられる。また、今後就職先企業アンケートの母数が増えることで、業種別に求める能力は異なることが予想されることから、そのように分けて貢献度との相関等を検証することが期待される。